

プロジェクト「ICT活用授業の普及活動」

本プロジェクトは2011年度より始まったプロジェクトで、教育推進部教員2名と授業支援グループ職員4名からなる。プロジェクト期間は3年間で、本プロジェクトの使命は、これまでに整備・導入されたアクティブ・ラーニングを促進する教育支援用ICT機

器やシステム、及び、授業時間外学習を促進するためのインフラについて、全学レベルで啓蒙・普及をおこなうことである。これらの使命を実現するため、2012年度は次の活動を行ってきた。

本プロジェクトの活動内容

1. 授業支援用 ICT 機器やシステム等の普及のためのワークショップ・講習会の開催（新任教員研修会、ランチョンセミナー、FD カフェにて実施）
2. 授業支援用 ICT 機器各種の簡易利用マニュアルの作成と配布（授業支援システム・CEAS/Sakai システムのスターマニュアルを作成）
3. 教材コンテンツ作成のためのアドバイス（尚文館マルチメディア作成スタッフとコンテンツについての勉強会開催、留学生別科 e ポートフォリオ用コンテンツ作成のアドバイス、留学生別科シンポジウムでテキストメッセージ付きクリッカーを活用した視聴者参加型のシンポジウムの実施）

2013年度は、コラボレーションコモンズのICTエリアを中心に、受講生をも対象に、アカデミックなICTリテラシー、スマートフォ

ンリテラシーの普及・啓蒙活動を行っていく。

（教育推進部 山本敏幸）

学習環境デザインプロジェクト

学習環境デザインプロジェクトは、2013年度から発足しました。このプロジェクトでは、学習・教育のための学習環境デザインの構築をしていくことを目的としております。具体的には、教室やその他学習施設における設備整備や運営、ならびに

教室に配置する機材や什器等の検討をし、学習環境のデザインを行います。

（教育推進部 岩崎千晶）

国立台湾大学 教育開発支援センター (CTLD) メンバー訪問

2013年4月23日に、本学の協定校でもある台湾の国立台湾大学 (NTU) から、本学の教育開発支援センター (CTL) とほぼ同じようなミッションを持つ機関、Center for Teaching and Learning Development (CTLD) からの視察団をお迎えしました。7名の、大部分がアメリカで学位をとられた精鋭の研究者のみなさんです。

双方のセンター長同士で事前に入念な打ち合わせをして、当方では極力関西大学のCTLの業務内容を理解いただけるよう準備しました。それに加えて、協定校であることを踏まえて、関西大学についてできるだけご理解いただけるよう、国際部とも連携してメニューを用意しました。

当日はまず、NTUのCTLDと本学のCTLの業務内容についての詳細な議論の場を設けました。その後、国際部のご協力を得て、本学に留学生として来ているNTUの学生を含めた懇談会、昼食会を経て、国際部長への表敬訪問をしていただきました。さらにその後、新たにできたコラボレーションコモンズの紹介を含む学内ミニ・ツアーをしていただき、その後は場所を南千里の留学生別科に移し、その施設・教育内容等の視察もしていただきました。千里山キャンパスでは中国からの大学院留学生に通讯を依

頼し、スムーズなコミュニケーションを実現することができました。

帰国後、先方の引率責任者の教務長・莊榮輝先生から丁寧な礼状をいただき、先方にとって有意義な関西大学への訪問であったことを確信しました。学内各部署の先生方・事務の皆様のご協力に心から感謝している次第です。

（教育開発支援センター長 田中俊也）



国立台湾大学からの訪問団と留学生、国際部とCTLスタッフ